



日野市教育広報
第98号

発行 日野市教育委員会(編集 教育部学校課)

教育目標

ひ ら こ う 世 界 へ
の び よ う と も に
つ く ろ う 夢 を
こ え よ う 自 分 を

紙面から

教育委員会主要な取組・コラム…………… 1
小学校の窓 …………… 2～3
夏休みわくわく学習術、新選組歴史館企画展、
多摩平写真日記、かまど修復体験、他…………… 4

平成26年度の市の一般会計当初予算は、前号でお知らせしたように、552億7,000万円です。このうち教育費は、10.9%の約60億2,215万円です。教育目標に基づく、平成26年度の主要事業は以下のとおりです。

日野市教育委員会の主要な取組(平成26年度)

基本方針

1

かかわりの中で知恵を出し合い、自立・協働・創造に向けた「21世紀を切りひらく力」を豊かに育みます

かかわりの中で個性を磨き合い、
21世紀を切りひらく力の育成

自ら課題を発見し、考え、判断し、
よりよく解決する確かな学力の育成

自分の大切さと他の人の大切さを認め、
行動できる豊かな人間性の育成

たくましく生きるための
健康・安全や体力の育成

★感じ、考え、表現するひのっ子が育つ魅力ある授業の創造
魅力ある授業づくりプロジェクト ひのっ子教育21開発
委員会の充実 ユニバーサルデザインの視点に基づいた授
業の創造 ICTを活用した授業の創造 公立小・中学校教
育研究会との連携
★いじめ防止総合対策の推進
★日野サンライズプロジェクト 不登校の児童・生徒と保護
者への支援
★情報モラル教育の推進
★被災地に学ぶ生きる力プロジェクト
★安全教育の充実 災害安全 生活安全 交通安全
★心と体の健康教育の推進 がん教育の推進 食育の充実
★体力・運動能力の向上 一校一取組運動

基本方針

2

質の高い教育環境を整え、「次代をつくる特色ある
学校づくり」に取り組みます

次代をつくる特色ある学校づくりと
魅力ある学級・授業のデザイン

一人一人の教育的ニーズに応じた
特別支援教育の充実

ICT環境、安全・安心な学校づくりと
教育環境の充実・整備

幼保小中高による
連携を生かした教育の推進

★特色ある学校づくり 学校経営重点計画の見える化 校長・学
校裁量による人的支援予算の配当
★第3次日野市特別支援教育推進計画の推進
★日野市発達・教育支援センター「エール」を中心にした相談・
支援体制の構築
★ICT活用教育の推進・充実 ICT環境のさらなる整備 ICT活
用教育推進のための人的支援体制
★学校施設環境の整備 日野第二中学校北校舎改築及び日野第
五小学校増築に向けた実施設計事業 計画的なトイレ改修 お
いしい水プロジェクト
★学校の安全・安心づくり 通学路の安全対策整備計画に基づく
整備 交通・道路管理者等と連携した安全確保 スクールガー
ドボランティアによる登下校時・放課後の安全確保
★学校における食物アレルギー疾患対応の充実
★幼保・小・中連携教育の取組 ひのっ子カリキュラムの推進
★小・中・高連携教育の充実

基本方針

3

人が豊かに生きるために体験を充実させ、学校、家庭、地域・
社会が一体となった「つながりによる教育」を推進します

グローバルな視野をもった
つながりによる教育

子供の居場所・遊び場の確保と
人々が支え合う地域づくり

学習・生活習慣の確立と
家庭の受容力・教育力の向上

自然や歴史、文化・芸術、スポーツ、
ものづくりなどに触れる豊かな体験

★学校支援ボランティア推進協議会事業の充実
★学校と連携した家庭教育力の向上
家庭教育学級事業の拡充
★PTA活動への支援・協働
★家庭の受容力・教育力の向上及び家庭学習の習慣化
市P協と教育委員との懇談会の開催 市P協と教育委員会
職員との意見交換会の開催
★「本物」を体験・体感できる機会の創出・拡充
アスリート 地域の伝統・文化 ものづくり 農業体験等

生涯学習の振興	生涯学習推進計画の策定 日野市指定文化財ホームページ整備事業 家庭教育の充実事業 各種生涯学習事業の整備 学校支援ボランティア推進協議会事業の円滑な運営 日野市立八ヶ岳高原大成荘の運営の検証 文化財に関する調査・保護・啓発と、相当するものの文化財指定
公民館事業	公民館サークル活動資料の再編及び市民提供 利用者参画による公民館運営の拡充 ひの市民大学事業の検証と再構築 施設予約システムの稼働による市民の利便性の向上 公民館独自のホームページを活用した広報活動の充実
図書館事業	子ども読書活動の推進 ●学校図書館支援の強化・充実 ●保育園・幼稚園との連携事業の促進 図書館利用促進のため、図書館ガイドの作成・テーマ別展示の充実 市刊行物の納本制度の実施 高幡図書館屋上トップライト防水修繕 本を通しての交流の機会となる読書会の実施 第2次子ども読書活動推進計画に基づく事業の検証 日野宿発見隊事業の推進 寄贈資料受入推進・不要資料の頒布事業の準備、推進 図書館開設50周年(平成27年)に向けた、記念行事の準備
郷土資料館事業	「ふるさと日野の自然とくらし」ほか展示事業の展開 幻の真慈悲寺調査事業と「百草里山ミュージアム構想」との連携 郷土資料館の展示室整理事業 近現代史の調査事業 勝五郎生まれ変わり物語調査探究事業 特別展示の開催 資料内容等市民からの問い合わせに対応するレファレンス 各種体験講座の開催による市民への生涯学習の機会の提供 郷土資料・古文書等の緊急調査収集対策 文化伝承事業等の充実 日野の自然と歴史・民俗に関する調査研究の推進と市民に親し まれる事業の展開 学校教育活動への積極的支援



コラム

「自己コントロール力」と「寛容性」



日野市公立小学校校長会 会長
平山小学校 校長 五十嵐 俊子

国の「第二期教育振興基本計

画」と日野市の「第二次日野市

学校教育基本構想」のキーワー

ドは、「自立・協働・創造」で

す。これからの社会においては、

「個人として自立し他者と協働

しながら価値を創造して生きる

力」が求められているというこ

とです。

その基盤をなすものは、「自

己コントロール力」と「寛容性」

ではないでしょうか。

与えられた環境をしつかりと

受け止める、失敗を恐れずに挑

戦する、うまくいかなくても人

のせいになり逃げたりしない、

他者を信頼し失敗を責めない、

他者のために貢献する、他者と

力を合わせて問題を解決する等々、

我々大人も、子供たちにこのよ

うな力を付けるように心がける

と同時に、自分自身もそうであ

るように学び続けなければなら

ないと思っています。



小学校の窓

の小学校
紹介

「ホームページも、開いてみてください」

日野市の各小・中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、小学校の様子を紹介します。

紹介する内容は、各校のホームページや学校便りの入
□です。詳しくは、各校のホームページをご覧ください。

(学校課)

日野第一小学校

校長 石田 恒久

「温故知新」



昨年度は140周年記念式典を挙行し、地域や同窓会・保護者・子供たちと共に歴史と伝統を振り返りました。代表委員

会では、今年のスローガンを「新たな一小を創り出す第一歩」としました。

新たな時代を生き抜いていく体力を育てるために、朝会前の姿勢体操・休み時間に行う体力アップタイム。「故きを温ねて新しきを知る」教育活動を充実させています。



同窓会からの桜を記念植樹

<http://www.e-hino1.hino-ky.ed.jp>

日野第二小学校

校長 中村 康成

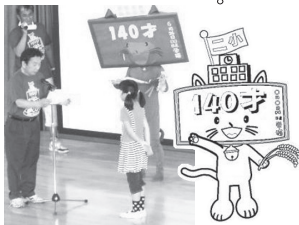
「節目の年」



今年10月25日(土)に、開校140周年記念式典と祝賀会を行います。今日まで本校を支え、発展に御尽力くださった多くの方々に思いを馳せたいと思います。

「ありがとうございます」の気持ちで140年を寿ぎたいと思います。

歴史と伝統を見つめ、未来に開く節目の年です。教育目標を、未来社会を担う子らのため、「たくましい子」「たすけあう子」「かんがえる子」に改定しました。郷土愛を育む指導を充実させていきます。音楽室から「うさぎ追いかの山」と、歌声が流れてきました。



周年イメージキャラクター「学猫」の作者を表彰

<http://www.e-hino2.hino-ky.ed.jp>

日野第六小学校

校長 古宮 キヨ子

「21世紀を切りひらく力を目指して」



第二次日野市学校教育基本構想が策定され、本校ではその方針を受け「21世紀を切りひらく教育」「次代をつくる教育」「つながりによる教育」を柱に、「知・徳・体」

の力を一層高めていく教育活動を進めています。

特に、思考力の向上に向け、東京都の言語能力拠点校として国語科での「話すこと・聞くこと」を通して、力を引き出していきたいと思えます。更に東京都オリンピック教育推進校として、体力アップに向けた取り組みやオリンピックの精神・歴史等についての学びを深める等、豊かなかわりを通し、互いの個性を磨き合い新たな課題や問いへの答えを創造し、これからの切りひらいていく力を高める教育活動の充実を目指していきます。



体力アッププロジェクトで、第一公園を走り抜く子供たち

<http://www.e-hino6.hino-ky.ed.jp>

潤徳小学校

統括校長 竹山 弘志

子供がよく遊ぶ校庭



本校は、昨年度開校140周年を迎えました。昨年10月には、全校集会や記念式典・祝賀会、校舎内外の整備などの記念事業を行い、多くの方々に祝福やご協力等を賜りました。本校の教育目標である「敬愛・自由・勤労」の精神は、今後も変わることなく連綿と続き、明るく純朴で働き者の子供たちを輩出し続けることでしよう。

本校には、向島用水を利用したジオトープやPTA制作の「ほほえみの丘」など、子供たちに大人気の場所があります。私は、多くの子供たちが仲良く真剣に遊んでいる休み時間の校庭がとても好きです。



休み時間の校庭

<http://www.e-juntoku.hino-ky.ed.jp>

平山小学校

校長 五十嵐 俊子

伝統と未来をつなぐ教育



「コミュニティ・スクール平山小学校」は、伝統と未来をつなぐ教育を進めています。保護者・地域のみなさまとともに、平山季重の生誕地である平山地域の歴史をもつて未来へ生き抜くひらやまっ子育てています。

11月8日(土)には、公開研究会を開き、一人一台のタブレット端末を「多様な子供の可能性を最大限に伸ばし、主体性を育むツール」として活用している学びの姿を公開します。2月21日(土)には、文部科学省研究開発学校中間発表会を開き、新教科「生きぬく科」(防災教育)の取組を公開します。



予告なしの危機発生時対応訓練

<http://www.e-hirayama.hino-ky.ed.jp>

南平小学校

校長 松永 式子

地域と創る40周年



本校は、今年度開校40周年を迎えました。子供たちが考えたテーマ「感謝」をもとに11月22日に記念式典を予定しています。2年間の日野市研究奨励校として「言語活動を通して思考力、表現力を伸ばす算数科の学習活動の工夫」をテーマに研究を進めて参ります。子供たちに確かな学力を付け、言語活動の充実にも努めます。また、オリンピック推進校としても、国際的な大会で活躍している選手に陸上競技の助言をいただき、子供たちの体力向上にも努めます。地域の方々の連携を深め、周年行事に取り組んでいきたいと思っています。



研究授業

<http://www.e-minamidaira.hino-ky.ed.jp>

旭が丘小学校

校長 井口 進

雑木林と郷土愛



平成16年度に日本学校関係緑化コンクール学校林等活動の部において農林水産大臣賞を頂き、雑木林がある学校として日本一となりました。雑木林は、皆様も御存じ

のようにいろいろな木が混在しているため、人の手で世話をする必要があります。それぞれの木が生きて成長できる環境にすることにより、その恵みを他の生き物や学校、地域にも与えてくれています。

この旭が丘小学校の子ども達も、雑木林の恵みは勿論、保護者の皆様をはじめ、地域の方々のお力を頂きながら、地域との繋がりを大切にし、心豊かに育てられ、郷土愛を育む教育が進められています。



雑木林清掃活動をする子供たち

<http://www.e-asahigaoka.hino-ky.ed.jp>

東光寺小学校

校長 大串 亮

「みどりの学び舎」



本校の校歌の最後に「♪みどりの学び舎東光寺♪」とありますが、東光寺小学校という芝生のある学校、というイメージを持たれている方々が多いのではないのでしょうか。

地域・保護者の皆さまの力をお借りし、夏芝・冬芝と植え替えることで、一年中学校庭に緑があるのが当たり前になって参りました。

また本校は「地域運営学校(コミュニティスクール)」でもあります。学校情報をしっかり発信し、地域の意見に耳を傾け、子供を第一に考える教育をこれからも実践して参ります。



みどりの学び舎

<http://www.e-tokoji.hino-ky.ed.jp>

日野第三小学校

校長 京極 澄子



「授業のユニバーサルデザイン」

日野市では、すべての子供たちにとって居心地がよく、学びやすい学校を目指して「ひのスタンダード」を全国に発信し、実践を深めてきました。本校も、この取り組みを始めて8年がたち、全国から多くの視察者が訪れています。今年は、国語の文学作品を題材に「わかる・できる・楽しい」授業にするための工夫を重ねています。キーワードは「焦点化（シンブル）」「視覚化（ビジュアル）」「共有化（シェア）」です。教師も子供たちも生き生きと学ぶ研究にすることがねらいです。成果を2月7日に発表します。



授業風景

<http://www.e-hino3.hino-ky.ed.jp>

日野第四小学校

校長 中澤 正人



これでPTAの努力の賜物

本校では、この度、ベルマーク教育助成財団から集票累計数が100万点を超えたという点で、お手紙と感謝の盾をいただきました。この100万点超えは、都内は基より全国でも数校しかありません。これもPTAの皆様が、委員会を設置し、子供達のために熱心に取り組んでこられた成果だと思います。このベルマークを本校では、体育器具を中心に教材の充実に役立てています。今年は昨年度の集票の一部で紅白の大王をいただきました。今年の運動会の大玉送りでは、紅白の色が一層映えるのではと、今から楽しみです。



感謝の盾

<http://www.e-hino4.hino-ky.ed.jp>

日野第五小学校

校長 福島 貴美江



明るく生き生きと学ぶ学校
～地域とともに『夢』を育む～

多摩平の開発と共に歩みを進めてきた本校は今年、開校55周年を迎えます。先日は、開校記念集會に本校の卒業生でプロの剣玉士である伊藤祐介さんをお招きし、夢に向かって努力されたご自身の体験談と見事な剣玉の技を披露して頂きました。本校は「本物との出会い・体験活動の充実」をモットーに、児童の主体的な学びを大切にしています。今年も様々な活動に日野自動車やコニカミノルタのクラブ指導者、郷土資料館、社会教育センターの方々にお越し頂く予定です。



開校55周年記念集會

<http://www.e-hino5.hino-ky.ed.jp>

日野第八小学校

統括校長 高橋 大造



「なかよし班」でカレー作り

6年生が一人一グループを任せられリーダーとして活動します。最大の行事は、全校児童によるカレー作りです。校庭に6年生の数だけかまどができます。グループの一人一人に役割があり、力を合わせてカレーを完成させます。地域・保護者の皆様の温かい眼差しに包まれながら、多様なかわりを工夫し、よりよい人間関係を築こうとする心情を育んでいます。



八小なかよしパーティ

<http://www.e-hino8.hino-ky.ed.jp>

滝合小学校

校長 岡部 君夫



子供の未来に貢献できる学校を

子供の未来を見据えた教育ができる学校を目指しています。月に1、2回の土曜日授業、中・高学年の教科担任制、ほぼ毎日のチャレンジタイム・読書タイムなどを取り入れて子供の学力向上を図ります。今年度より郷土教育「ふるさとひの科」をカリキュラムに位置付けて行い、子供の郷土愛を育てます。また、オリンピック教育推進校として芝生を活用した取組を充実させて、心身ともに健康な子供を育てていきます。学校・社会のルール・マナーの遵守、不登校・深刻ないじめの防止等の取組を徹底して一人一人の規範意識の向上を図っていきます。これらの取組を通して将来社会に貢献できる人の育成を目指しています。



音楽朝会でのお琴の演奏

<http://www.e-takiai.hino-ky.ed.jp>

日野第七小学校

校長 上野 馨



地域の方々に見守られて

人は一人では生きていけません。大勢の人たちの世話になって生きていきます。先日行われた運動会でも敷地内見回り、自転車誘導、テント片付け等PTA役員、おやじの会の皆様がその場で最適な対応をしてくださいました。さて、この写真は七小の田んぼ修復作業の様子です。老朽化してきたので、土を掘り起こしたりシートを交換したりすることをお願いしたところ、ゴールデンウィークの最終日に集まってくださり、作業を完了することができました。「次は何をするのですか？声をかけてください。」ありがたいことです。



<http://www.e-hino7.hino-ky.ed.jp>

仲田小学校

校長 内田 清



なかだの仲間

本校は、今年度開校30周年記念行事を挙行いたします。昨年度から保護者、地域の皆様とともに手作りのよさを感じられる式になるよう準備を進めてまいりました。これまでの歴史を振り返り、温かい地域や保護者への感謝の気持ちと新たに前進する強い意思を子供たちに伝えたいと思います。来月1月末に予定されている日野市教育委員会研究奨励校・オリンピック教育推進校としての研究発表会も含め、皆が安心して「失敗から学ぶ」環境を創造していきます。



周年記念タイヤランド制作 体育研究授業

<http://www.e-nakada.hino-ky.ed.jp>

夢が丘小学校

校長 阪田 幸子



元気、やる気を育てる学校に

毎日、坂を上ったり下ったりしながら331名の子供達が元気に登校しています。今年度は『たくましい子供』を育てることに重点を置き、体力づくりを通して、運動能力や強い精神力、物事に意欲的に取り組む子供を育てる取組を進めています。体育の研究授業や朝の全校体育朝会、外遊びの奨励等により、子供達の運動の幅も広がってきました。休み時間は子供達の天国。一輪車、竹馬、登り棒、タイヤ跳び、雲梯、鉄棒等様々な遊びに挑戦する元気な子供達の声が響き渡っています。遊具の周辺を芝生化にし、はだして遊べるコーナーづくりの準備も進めています。



朝の全校体育朝会

<http://www.e-yumegaoka.hino-ky.ed.jp>

七生緑小学校

校長 加藤 敏行



個性が輝く子供が主役の楽しい学校

本校は平成20年度に2校が統合し新しく出発した、開校7年目の学校です。小鳥のさえずりが聞こえる緑豊かな環境に囲まれ、子供たちは明るくのびのびと生活しています。保護者・地域と一体となり、笑顔と優しさ溢れる個性豊かな児童を育みます。今年度は、どの子にとっても分かりやすいユニバーサルデザインの授業づくりに力を入れています。また、東京都教育委員会「東京方式」をいち早く実施し、長期休業日の補習教室と連動させながら、どの子も算数の基礎学力が定着する取組を進めています。



習熟度別少人数の授業に集中する子供たち

<http://www.e-nanaomidori.hino-ky.ed.jp>

夏休みも 行きます

毎年夏の恒例事業「夏休み小学生集まれ！わくわく学習術」を中央公民館で行います。学校ではふだんできない新しい体験をしませんか？別表のように、楽しい「遊び」「挑戦」「学び」が盛りだくさんです。
小学3年生から6年生まで参加できます。申込みは7月17日から中央公民館で受け付けます。どんだん応募してください。

【参加費】 一人600円
（初日に集めます）
中央公民館
（58117580）

夏休み小学生集まれ！わくわく学習術 時間割				
日	時	会	内	講
7月30日(水)	9時30分～10時	中央公民館	入術式	水筒 弁当 筆記用具
	10時～12時		科学の不思議を遊んでみよう	
	13時～15時		自然の恵みを使ってオリジナル工作をしよう	
7月31日(木)	10時～12時	中央公民館	お笑いの達人になろう①	水筒 弁当 筆記用具
	13時～15時		お笑いの達人になろう②	
8月1日(金)	10時～12時	中央公民館	一緒につくろう！元気夏力レー	水筒、エプロン、 角巾(ひんがし等)、 忘れてもいい服装、 帽子、筆記用具
	13時～15時		打ち上げよう！ペットボトルロケット	
	15時～15時30分		卒術式	

赤レンガプロジェクト新企画
ライブ・ダンス・音楽だけの
赤レンガではありません。今回は
劇団かし座に依頼し、『影
絵』ハンド・シャドウズ・アニ
マールを実施します。
【日時】7月19日(土)午後4時
30分開場 午後5時開演
【会場】七生公会堂
【チケット販売】
ひの煉瓦ホール（日野市民会
館）・七生公会堂
【チケット詳細】
前売 子ども 2,000円
大人 2,500円

夏休みは新選組のふるさと歴史館へ!! 企画展「新選組ってなんだろう」

親子で学ぼう週末日本く

日野市は「新選組のふるさと」と呼ばれます。この企画展では、主に小学校高学年のみなさんを対象に、新選組の活躍や日野市とのかわりを、当時の政治や社会を振り返りながら、わかりやすく紹介します。

新選組を知ると、ふるさと日野が見えてきます。郷土を知るきっかけとして、夏休みの自由研究として、ぜひご覧ください。
【会期】7月26日(土)～9月15日(祝) 月曜日休館（ただし9月15日は開館）
【開館時間】午前9時30分～午後5時（入館は4時30分まで）
【入館料】大人200円・小人50円
【展示解説】8月5日(火)、10日(日)、15日(金)、20日(水)、30日(土)の午前11時～正午。直接会場へお越しください。
【関連行事】ちよっとだけ入門 天然理心流
土方歳三や井上源三郎が修めた剣術・天然理心流を、宮川清蔵氏（天然理心流宗家）と井上雅雄氏（井上源三郎子孫）のお話と指導で体験します。
【日時】8月9日(土)、23日(土) 午前10時～正午
【対象】各回とも小中学生20人（小学3年生以下は保護者同伴）
【申込】7月19日(土)から新選組のふるさと歴史館で電話受

【申込】7月19日(土)から新選組のふるさと歴史館で電話受
当日 親子券 4,000円
子ども 2,500円
大人 3,000円
※子ども料金は4歳～中学生
【問合せ】文化スポーツ課



夏休みの郷土資料館

企画展 多摩平写真日記



多摩平団地（現・UR多摩平の森）は日野に初めて誕生した巨大団地です。団地に住むアマチュアカメラマン後藤昭夫さんが、日記のように撮りためてきた写真の中から、昭和40～60年代のなつかしい日野市内の風景を紹介しています。
【会期】7月29日(火)～8月3日(日)
※7月29日は午後1時～午後5時。翌30日～8月3日まで
は午前9時～午後5時。
【会場】日野市民会館（ひの煉瓦ホール）2階展示室

東京文化発信プロジェクト
パフォーミング・アーツ・トリキョー
『ゲバゲバキッズ・
トリキョー日野く結成!!
21世紀ドモ舞踊団
2014夏休み』
子供たちが、いま注目の若手ダンスカンパニー「21世紀ゲバゲバ舞踊団」と一緒に創作した舞台作品を発表します。
【日時】8月10日(日) 午後3時～
【会場】ひの煉瓦ホール（日野市民会館）小ホール
【定員】200名（応募者多数の場合、抽選）
【入場料】無料
【申込締切】8月4日(月)
【申込方法】ホームページからアクセス、「ひの煉瓦ホール観覧希望」・人数（子供・大人の別）・代表者氏名（ふりがな）・代表者住所・電話番号・ファックス番号
【主催】東京都／東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人芸術家と子どもたち、日野市市民会館文化事業協会、日野市
【後援】日野市教育委員会
【申込・問合せ】
NPO法人 芸術家と子どもたち
電話03-5961-5737、
FAX03-5961-5738、
メール pkt-part@children-artnet
HP http://www.children-artnet/pkt/pkt_invite/ または文化スポーツ課（問い合わせのみ）

【日時】8月10日(日) 午後3時～
【会場】ひの煉瓦ホール（日野市民会館）小ホール
【定員】200名（応募者多数の場合、抽選）
【入場料】無料
【申込締切】8月4日(月)
【申込方法】ホームページからアクセス、「ひの煉瓦ホール観覧希望」・人数（子供・大人の別）・代表者氏名（ふりがな）・代表者住所・電話番号・ファックス番号
【主催】東京都／東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）／特定非営利活動法人芸術家と子どもたち、日野市市民会館文化事業協会、日野市
【後援】日野市教育委員会
【申込・問合せ】
NPO法人 芸術家と子どもたち
電話03-5961-5737、
FAX03-5961-5738、
メール pkt-part@children-artnet
HP http://www.children-artnet/pkt/pkt_invite/ または文化スポーツ課（問い合わせのみ）

地域の皆さんの力で 学校を支えましょう

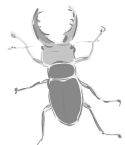
（学校支援ボランティア推進協議会事業）

この事業は、学校・家庭・地域が連携協力して教育支援を行うもので、保護者や地域の方が各小学校ボランティアとして参加しています。
現在支援として行なわれている内容の一例として「登下校の子どもの見守り」、「本の読み聞かせ」、「花壇の整備」、「学校行事のお手伝い」等があります。



本の読み聞かせ

この支援事業を進めるために教育委員会では、学校からの依頼や地域からの提案などを学校と打ち合わせて、ボランティアの活動を進める役割を担うコーディネーターを各学校区毎に地域の方々の中から委嘱しています。
子ども達が健やかに成長するために、地域や保護者の方々の協力が必要です。ぜひ皆様で子ども達の学校生活を支えていただきますようご協力お願いいたします。



【問合せ先】生涯学習課

夏休み ジュニアスタッフ募集

図書館では夏休みに、中学生を対象とした「ジュニアスタッフ」を募集しています。
開館前の時間帯に本棚を整頓したり（書架整理といいますが）、実習の最終日には各自のおすめの本を教えてもらったりしています。中学生の皆さんには、図書館の仕事の一端を体験してもらうことで、さらに図書館を身近に感じてもらうことができます。普段ではないかと思えます。普段は自分の興味のあるコーナーしか立ち寄らなくても、このジュニアスタッフを経験すると、今まで知らなかった分野にも目が向いたり、新たな興味が湧いてくるかも知れません。
実施場所は中央・高幡・日野・多摩平・平山図書館の5館で、4日間行います。詳しくは広報ひの、図書館HPなどでご確認ください。先着順ですので、体験ご希望の館が定員に達していることもあります。どうぞご了承ください。（図書館）

※8月1日から31日まで、資料館1階の民俗資料展示室の改装工事を行います。工事の後には学校見学などがしやすくなりますのでご期待ください。
【問合せ】郷土資料館
電話592-0981（月曜休館）なお祝日の場合は翌日休館

夏休み特別イベント

復原住居で 勾玉作り かまど修復 体験

中央公園にある復原住居は、奈良時代～平安時代初めにあった住居跡を復原したものです。夏休みには復原住居で、火起こし体験に加え、勾玉作りの体験コーナーを設けます。また、市内の発掘調査現場で実際に出土した粘土を使って、住居のかまどや外まわりの修復も体験できます。ご家族、お友達同士で是非ご来場ください。

【日時】8月7日(木)午前10時～午後4時
※雨天の場合は翌日に順延。
【会場】復原住居（日野中央公園南西角）
【体験コーナー】①勾玉作り（小中学生対象。材料費実費100円。事前申込。8月4日9時より電話にて受付。先着50名まで。費用は当日徴収。）②復原住居のかまど・外まわり修復（無料。申込み不要。）【持ち物】飲み物・帽子・汚れても良い服装。
【問合せ先】生涯学習課
内線5321



家庭教育通信 ⑤
親子でつくるわが家のルール
「子どもの言うことを何でも聞くことが、親のやさしさとは限らない」
安易にモノを買い与え過ぎると、子どもは欲しいモノを手に入れるために努力したり、我慢したり、工夫したりすることができなくなります。そして、やたらとモノを欲しがり、自分の気持ちを抑えられなくなってしまう。
ブランド品や携帯電話など、友達も持っているからなどといった理由で安易に買い与えないようにしましょう。欲しいと言ったら、なぜそれが必要なのか親子でよく話し合ってください。子どもたちのためを思うなら、お金より、心や愛情を使い、親子の関係を深めましょう。
文部科学省発行「家庭教育手帳」より
（生涯学習課）